



祝 詞

学校法人 関西大学

理事長 久井 忠雄

創部30周年、頂戴した資料によると、それ以前、昭和10年当時より部創設の胎動と斯道発展のための労苦の積みかさねがあって、そして迎えられた今日、「おめでとうございます。ご苦労さまでございました。」と申し上げさせていただきますと共に、心よりその歩まれた建設のご努力に対し敬意を表します。

「関西大学レスリング部」と聞くと、何よりもまず「オリンピック東京大会の金メダル」が思い浮かんできます。市口政光選手のあの素晴らしい活躍により打立てられた金字塔をであります。

この金字塔は決して突如として浮かびあがったものではなく、これこそ関西大学レスリング部が、その歴史と伝統のもとに総力をあげて建設した象徴であると確信しています。

即ち、市口選手の優れた素質もさることながら、これを十二分に生かし、育てあげ得る土壌があったということでもあります。レスリングに打込む情熱、技の研究、体力の育成のためのあくなき日頃の研鑽が積み重なり結晶となったものであると信じております。

しかし、現在のレスリング部の状態は厳しいものであると承知致しております。しかしながら、頂点を極めた「部」であります。必ず雌伏しているの間にも、明日の飛躍のため以前にも増した情熱を持って研鑽を重ねているに違いないことでありましょう。そして、全般的に沈滞を問われる関西大学のスポーツに新しい息吹きを吹き込み、模範となり、リーダーとなって復活されるであろうことを信じて止みません。

創部30周年という歴史の節にあたって、お祝いを申し上げますと共に、更に金字塔の建設をご期待申し上げます。